

公益財団法人

京都府国際センタ

Kyoto Prefectural International Center

IEWS

2020年 秋号

新型コロナウイルス感染期における

特集 外国人住民とコミュニケーション支援について

京都府と京都府国際センターは、市町村、国際交流協会、日本語教室を対象に、コロナ禍における外国人から の相談や情報提供の方法、日本語教室の状況等についてアンケートを行いました。

外国人住民 からの相談

「言葉の壁」によるものが多い。

「在留資格」の期限切れ、帰国便のキャンセル、失業による収入減、雇用・社会保険の手続きに関する 相談のほか、「心の壁」から生じる差別に関する相談等がありました。



特別定額給付金の 申請方法や申請書の 書き方がわからない。



「外国人」ということで 街を歩いている時に 差別的に見られている 気がする。

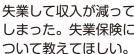
里帰り出産のつもりが フライトがキャンセルに。

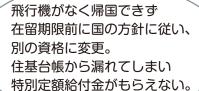
帰国できない。



日本語教室に通えなく なり、日本語能力検定 試験の準備ができない。

失業して収入が減って しまった。失業保険に











- ■<特集>外国人住民とコミュニケーション支援について ・・・・・・・1~2
- ■府内の地域日本語教室が活動を再開し始めています! ・・・・・・・・3
- ■京都にほんごRingsが京都府から「市町村・地域自治功労者表彰」を受賞しました!・・・・・3
- ■京都府国際センターからのお知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

行政、国際交流協会

外国人住民への提供情報の主なテーマは、新型コロナウイルス感染予防、特別定額給付金、緊急小口資金、支払い猶予、在留資格等が多くを占めました。

情報提供の方法については、市町村では HP によるものが大半で SNS 等は利用していない傾向にあります。

(Facebook による情報提供 1 市)。一方、国際交流協会は、Facebook や LINE 等、SNS を中心に情報発信しており、団体ホームページ上での情報提供は 4 団体に留まっています。各市町村、行政と国際交流協会が補い合いながら情報提供を行っていたことが伺えます。

情報の選別と多言語化



1 発信するべき情報

- ・刻々と変化する情報、すべての情報の翻訳と情報の選別が難しい。
- ・日本人住民向けの情報を翻訳しているのみで外 国人住民を意識した情報になっていない。

2 対応言語の数と翻訳情報の正確性

- ・住民の国籍が多様化してきている一方、対応言 語の数に限界がある。
- ・自動翻訳サービスの利用で対応言語は増やせるが、翻訳の正確性には課題あり。

3 情報発信のタイミング

・やさしい日本語版の作成や翻訳には時間がかかり、日本語との同時発信が難しい。

情報の届け方

1 情報を届けるための手段

- ・直接、情報を届ける手段がない。HPの周知も不十分。
- ・HPやfacebook等SNSの利用者には伝わっているかもしれないが、利用していない人に伝えるのが難しい。

2 情報発信後の反応

・本当に必要な人に届いているか、どれくらいの 人に届いているかがわからない。

市町村による情報提供の工夫

\各戸配布しました!/

- ●特別定額給付金の案内 やさしい日本語版、英語、中国語、ベトナム語版
- ●感染による症状、手の洗い方等のチラシ やさしい日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語版

| 関係団体と連携/

●技能実習生の監理団体や外国人受入企業等と連携し 特別定額給付金の資料提供や申請時のサポートを 依頼。

日本語教室

ウイルス感染への不安

- ・支援者に高齢者が多く、「もし感染者が出たら…」という不安が大きい。
- ・海外からの渡航制限解除後の新規入国者が学習者としてやってきた場合、コロナに感染していないかという心配がある。

ウイルス対策と学習環境

- ・学習者が増えてきた時の3密を避けるための学習場所 の確保の問題(会場探し、費用)
- ・マスクとフェイスシールドで指導の声がこもるため、 会話の指導がしづらい。
- ・ボランティアの車による学習者の送迎は車内が密 に。しかしそれをやめると学習者の学ぶ機会が減って しまう。
- ・オンライン学習の導入が難しい。 学習者、教室の会場ともに、デバイス、ネット環境を 十分に整備できない。







支援ボランティア

- ・ウイルスへの不安から活動を自粛する人が増え、支援 者不足。
- ・3密回避のため、実施回数を増やすことになり支援者の負担増。

コロナ禍での当センターの 取り組みについて

今回、当センターでは京都府と連携して、府が 府民向けに発信する関連情報やお願いを英語、 中国語、ベトナム語でリアルタイムに提供する 一方、緊急事態宣言中も電話やメールによる生 活相談を継続するなど、外国人住民の生活支援 に努めてきましたが、今後もコロナ禍の影響が 続くことが予測されるなか、今回のアンケート 結果を踏まえこうした取組の改善を図ってまい ります。

府内の地域日本語教室が活動を再開し始めています!

学習者と支援者が安心して参加できるよう、各教室では工夫を凝らし感染防止に取り組んでいます。



●南丹市国際交流協会 日本語教室

6月18日から対面授業を再開、21日から新たに美山教室を開講しました。消毒、換気、フェイスシールドの着用、広い会場への変更、対角線上に座って距離を保つなどの対策を行っています。学習者に支援者の口の形をわかりやすくするよう、クリアマスクも使い始めました。



●城陽市国際交流協会 にほんご教室「夢気球」

7月5日から対面授業を再開しました。消毒、検温、パーテーション利用、1室あたりの人数制限などの対策をとっています。9月末までの間に2会場とオンラインで324回開催されました。昨年と比べると、7割くらいの活動状況となっていますが、新しい学習者の受入も始めました。



●宇治国際交流クラブ 日本語教室

5月20日からZoom等を使ってオンライン授業を開始しました。大学構内にある会場が使用できないため、今もオンラインのみの対応を続けています。対面より静かな環境で授業ができ、遠方の参加者からも家にいながらにして受講できると好評です。

京都にほんごRingsが京都府から「市町村・地域自治功労者表彰」を受賞しました!

「京都にほんご Rings」は、府内でボランティア活動をする 22 の日本語教室が参加するネットワーク組織です。 府内の地域日本語教室間の情報共有と課題解決のためのプラットフォームの機能としての役割を果たすとともに、日本語教室空白地域の解消や教室の持続的運営のための人材育成に取り組むなど、府内の多文化共生社会の推進に貢献したとして、このたび京都府から「市町村・地域自治功労者」として表彰されました。

今後も当センターの重要な事業パートナーである 「京都にほんごRings」の皆さんと力を合わせ、京 都府内の日本語教育支援を進めていきたいと考えて います。

京都にほんごRings

→https://www.kyo-rings.net/



受賞に寄せて

京都にほんごRings代表 渡部 真理

このたび京都にほんごRingsの活動を評価していただき、誠にありがとうございました。

Ringsは「みんなで繋がろう」という、設立者の強い思いで2002年に発足しました。

今回のコロナ禍で誰かに感染させないという思いやりを見聞きましたが、そのだれかを思いやる気持ちは、多くのRingsメンバーが持っている脱帽ものの優しさであり、活動していていつも驚かされています。

私たちの活動の対象は外国人住民ですが、異文化を知り、受け入れ、共存することができれば、私たちの学びにもなり、よりよい秩序に繋がり、京都の町はさらに住みやすくなる、と信じております。

これからも長く続けられるよう見守っていただけたら幸いです。

京都府国際センターからのお知らせ

京都府多言語生活相談

今年度から対応言語が 20言語 になりました。

外国人住民、外国人住民と関わりのある府民の方など、どなたでもご利用いただけます。電話、来所いずれにも対応しています。

専用電話: 075-343-9666 (通話料はかかります)

受付時間: 10:00~17:00 (第2·第4火曜日、祝日、年末年始を除く)

対応言語: 日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、クメール語 (カンボジア語)、ミャンマー語、モンゴル語、ロシア語、マレー語、シンハラ語、フランス語、

ドイツ語、イタリア語

内 容: 暮らしに関する困りごとを気軽にご相談いただけます。

在留資格、福祉、医療、仕事、出産・子育て・子どもの教育など https://www.kpic.or.jp/soudan/tagengo.html

京都市内にお住まいの方は、(公財)京都市国際交流協会へお問い合わせください。

TEL: 075-752-3511 9:00~17:00 (原則、月曜日休館)



● 「やさしい日本語」 講座 (舞鶴市)

2020年11月2日、9日、16日、30日 毎月曜日 全4回 13:30~15:30

場 所: 中総合会館5階多目的ルーム (舞鶴市字余部下1167)

対象:「やさしい日本語」に関心のある方

参加費: 無料 定 員: 30名

●災害時外国人サポーター講座

2020年12月12日(土) 午後 13:30~16:00

場 所: 京都経済センター6階会議室6-D (京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地)

内 容:「災害時に伝えることば『やさしい日本語』 (基礎と演習) |

講 師:「やさしい日本語」有志の会

参加費: 無料

~賛助会員を募集しています~

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会 費】個人会員/1口年額 3,000円(1口以上) 団体会員/1口年額 10,000円(1口以上)

【入会方法】・受付窓口で直接お申し込み

・電話、メール等で入会申込書をご請求の上、お申し込み

【特 典】・当センター内スペース (有料) を会員料金でご利用いただけます。

・当センター各種講座等に優先してご参加いただけます。

・他団体との提携による特典をご用意しています。

パスポート写真撮影のご案内

収益事業として、パスポート用の写真撮影を 行っています。

【場 所】京都駅ビル8階

(京都府旅券事務所の隣に併設)

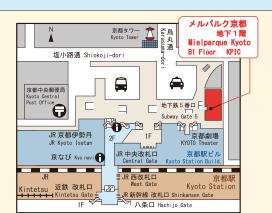
【営業時間】月曜日~金曜日 9:00~16:30 (旅券申請受付時間と同じです)

【撮影料金(税込)】

2枚 1,320円/4枚 1,980円

【お問い合わせ】

TEL 075-342-5002



公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F(JR京都駅前 北口東側(京都劇場側))

Tel: 075-342-5000

Fax: 075-342-5050 E-mail: main@kpic.or.jp https://www.kpic.or.jp/

facebook https://www.facebook.com/kpic.kyoto 開館時間/10:00~18:00

休館日/毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始 (12/29 ~ 1/3) 公益財団法人京都府国際センター NEWS Autumn 2020 秋号 第92号 編集・発行/公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center



